

令和5年度 継続中事業の進捗状況

再評価 年度	再評価対象事業 (各年度における事業再評価対象事業)					再評価対象外事業 (各年度における事業再評価対象外事業)				令和4年度取組状況					
	再評価時点		A～Cの 現状			再評価 時点	現状			対象事業	取組に対する自己評価結果 ※2				事業計画 (事業費・完了 年度)を 変更した事業
			うち A～C ※1	継続事業 自己評価 対象事業	完了		事業休止 等	継続事業 自己評価 対象事業	完了		事業休止 等	①(i)	①(ii)	②(i)	
				(1)				(2)			(1)+(2)				
令和元年度	10事業	10事業	10事業	—	—	2事業	2事業	—	—	12事業	3事業	1事業	5事業	3事業	3事業
令和2年度	3事業	2事業	2事業	—	—	—	—	—	—	2事業	—	—	2事業	—	—
令和3年度	16事業	16事業	16事業	—	—	2事業	2事業	—	—	18事業	3事業	—	11事業	4事業	4事業
合計	29事業	28事業	28事業	—	—	4事業	4事業	—	—	32事業	6事業	1事業	18事業	7事業	7事業

※1【対応方針】

事業継続(A):完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B):予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C):限定的な実施にとどまるもの
 事業継続(D):複数年にわたって予算の執行を行わないもの
 事業継続(E):事業を中止するもの

※2【自己評価結果】

①(i):計画どおりに進捗している(事業費進捗率・事業内容)
 ①(ii):計画どおりに進捗している(事業内容は計画どおりに進捗していない)
 ②(i):計画どおりに進捗していない(事業内容は計画どおりに進捗している)
 ②(ii):計画どおりに進捗していない(事業費進捗率・事業内容)

事業再評価後の取組状況 - 令和元年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						4年度 の取組内容	自己評価結果			
					元年度 (事業再評価時)	2年度	3年度	4年度	5年度					
R元 -01	街路事業 [建設局] 新庄長柄線（菅原） 整備事業	事業継続 （B）	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、令和8年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	67	令和4年度は、用地取得に向けた、土地・建物調査を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②（i） [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、用地取得に向けた、土地・物件調査を実施しており、事業進捗が図れている。	
						累計	42	45	48	52	55			
						進捗率	63%	68%	71%	77%	82%			
					完了年度		R8	R8	R8	R8	R8			
				実績	事業費	全体	67	67	67	67				
						累計	42	43	43	43				
						進捗率	62%	64%	65%	65%				
					完了年度		R8	R8	R8	R8				
R元 -02	街路事業 [建設局] 桜島東野田線（四貫島）整備事業	事業継続 （A）	現在、すべての用地取得が完了しており、今後、残る整備工事を着実に進める。また、令和元年度策定予定の無電柱化整備計画において、近年の地震等自然災害の被害を鑑み、早期に効果を発現する必要がある路線として位置付け、これまでの事業計画（令和7年度完了）を前倒し、令和5年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	41	41	41	41		令和4年度は、道路整備を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②（i） [理由] 道路工事に関して関係機関との調整に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、重点的な予算確保に取り組み、道路整備を行っており、着実に事業進捗が図れている。	
						累計	32	34	35	36	39			
						進捗率	79%	83%	86%	90%	95%			
					完了年度		R7	R7	R7	R7	R7			
				実績	事業費	全体	41	41	41	41				
						累計	32	33	33	35				
						進捗率	80%	81%	81%	86%				
					完了年度		R7	R7	R7	R7				
R元 -03	街路事業 [建設局] 東野田河堀口線（上本町）整備事業	事業継続 （C）	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しく、当面の間は、買取の要望に対応するなど限定的な事業実施となるが、今後、優先的に進める他の路線の収束に伴い、予算が確保でき次第、事業を実施し令和10年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	50	50	50	50	50	令和4年度は、道路設計及び、道路整備を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②（i） [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、重点的な予算確保に取り組み、道路設計及び道路整備を行っており、着実に事業進捗が図れている。	
						累計	20	20	21	22	24			
						進捗率	40%	41%	42%	43%	48%			
					完了年度		R10	R10	R10	R10	R10			
				実績	事業費	全体	50	50	50	50				
						累計	20	20	20	20				
						進捗率	40%	40%	40%	40%				
					完了年度		R10	R10	R10	R10				
R元 -04	土地造成事業 [大阪港湾局] 咲洲コスモスクエア地区ペDESTリアンデッキ整備事業	事業継続 （B）	ペDESTリアンデッキの整備については、歩行者の安全性及び利便性の観点から整備を進めるとともに、地域全体のコンセプトを踏まえつつ、より効果を高められるよう、民間事業者の整備するデッキと調整を行い、令和3年度での事業完了に向けて、着実に事業を実施する。	計画	事業費	全体	12	12	12	12		令和4年度は上部工の材料手配、製作に至った。また、下部工の工事を行った。	[自己評価結果] ②（ii） [理由] 下部工について、工事にあたり地中埋設物が支障となったため埋設事業者と再協議の結果、掘削範囲の変更が生じ、その再検討に想定以上の時間を要したため、令和5年度の工事完了見込みとなった。上部工についても、下部工の変更により民間歩道橋との接続調整に想定以上の時間を要したため令和5年度の工事完了見込みとなった。 [事業費を変更した理由] 上部工での民間歩道橋との接続部における工事費の増額、ウクライナ情勢等による材料価格の上昇、下部工での掘削工法の変更による工事費の増額によるもの。	
						累計	3	3	10	12	12			
						進捗率	22%	25%	83%	100%	100%			
					完了年度		R3	R3	R4	R5	R5			
				実績	事業費	全体	12	12	12	15				
						累計	3	3	4	8				
						進捗率	22%	25%	37%	53%				
					完了年度		R3	R4	R5	R5				

事業再評価後の取組状況－令和元年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続（Ａ）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（Ｂ）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（Ｃ）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 Ａ：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
Ｂ：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					4年度 の取組内容	自己評価結果				
					元年度 (事業再評価時)	2年度	3年度	4年度				5年度		
R元 -05	都市基幹公園等整備 事業 〔建設局〕 毛馬桜之宮公園整備 事業	事業継続 (C)	引き続き、早期の開設に向けて、用地取得と公園整備を実施する。	計画	事業費	全体	156	156	156	156	156	用地の権原取得に向けた調整を行った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 未取得用地については、土地所有者との用地売却、移転にむけた合意形成には至っておらず、権原取得に向けた調整が難航しているため。	
						累計	147	147	148	152	156			
						進捗率	94%	94%	95%	98%	100%			
				完了年度		R5	R5	R5	R5	R5				
				実績	事業費	全体	156	156	156	156				
						累計	147	147	148	148				
						進捗率	94%	94%	95%	95%				
完了年度		R5	R5	R5	R5									
R元 -06	都市基幹公園等整備 事業 〔建設局〕 難波宮跡公園整備事業	事業継続 (B)	引き続き、用地取得を実施し、民活の導入による公園整備を実施する。	計画	事業費	全体	15	15	15	15	15	北部ブロックの整備運営事業予定者を選定した	[自己評価結果] ①(i) [理由]	
						累計	10	11	13	11	13			
						進捗率	65%	74%	86%	74%	88%			
				完了年度		R4	R4	R4	R6	R6				
				実績	事業費	全体	15	15	15	15				
						累計	10	11	11	11				
						進捗率	65%	74%	74%	74%				
完了年度		R4	R4	R6	R6									
R元 -07	住宅市街地総合整備・住宅地区改良事業 〔都市整備局〕 生野区南部地区整備事業	事業継続 (A)	これまで、3つの事業手法により整備を進め、道路整備や、改良住宅の建設、まちかど広場の整備、民間老朽住宅の建替え支援など、一定の事業進捗の成果を上げてきたところであるが、生野区役所と一体となり、まちづくり協議会と連携・協働して、大地主の反対により難航している箇所の用地買収を集中的に実施し、あわせて、区画整理等の手法の活用も視野に入れ、用地取得を進めることで、道路・公園や受け皿住宅の整備を計画的に進め、より一層の事業展開を行い令和6年度事業完了を目指して着実に実施していくものである。	計画	事業費	全体	563	563	563	563	563	地区内の都市計画道路整備等を進めるために、従前居住者用の都市再生住宅の建設工事の着手を実施した。 用地取得を行い、事業進捗を図った。さらに次年度以降も用地買収を進めるため、引き続き大地主などに事業説明を実施した。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 大地主などへの用地買収に向けた長年の調整及び交渉が進んでいない事や、生活道路の整備工事の着手など、令和5年度以降は事業が大きく進捗する見込みである。 更に、用地買収が難航している物件については、区画整理手法の活用等も視野に入れながら調整及び交渉を進めて行く予定である。	
						累計	324	404	444	484	524			
						進捗率	58%	72%	79%	86%	93%			
				完了年度		R6	R6	R6	R6	R6				
				実績	事業費	全体	563	563	563	563	563			
						累計	334	336	341	346				
						進捗率	59%	60%	61%	61%				
完了年度		R6	R6	R6	R6									
R元 -08	住宅地区改良事業 〔都市整備局〕 旭住宅地区改良事業	事業継続 (B)	令和6年度の事業収束をめざして、引き続き権利者に対し粘り強く交渉を行うとともに、あらたに区画整理等の手法の活用も視野に入れながら用地取得を進め、計画的な改良住宅の建設・施設整備を行っていく。	計画	事業費	全体	54	54	54	54	54	長期間、連絡の取れなかった遠隔地に居住する建物所有者の所在を確認し、令和3年度に建物調査の実施に応じた建物所有者と、当該建物が存する土地所有者双方の建物移転・除却及び用地買収にかかる合意を得ることができた。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 新型コロナウイルス禍による移動自粛や行動制限もあり、用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。	
						累計	27	32	35	43	53			
						進捗率	50%	59%	65%	80%	98%			
				完了年度		R6	R6	R6	R6	R6				
				実績	事業費	全体	54	54	54	54	54			
						累計	27	27	27	27	27			
						進捗率	50%	50%	50%	50%				
完了年度		R6	R6	R6	R6									

事業再評価後の取組状況 - 令和元年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						4年度 の取組内容	自己評価結果		
					元年度 (事業再評価時)	2年度	3年度	4年度	5年度				
R元 -09	土地区画整理事業 [都市整備局] 大阪都市計画事業 淡路駅周辺地区土地区 画整理事業	事業継続 (A)	高架切替後に新鉄道敷西エリアの整備を 行い、令和9年度の換地処分をめざす。	計画	事業費	全体	368	368	368	368	368	埋設管等移設工事及び整 地工事等を計画的に実施し た。	[自己評価結果] ①(i) [理由]
						累計	347	353	355	355	355		
						進捗率	94%	96%	96%	96%	96%		
					完了年度		R9	R9	R9	R9	R9		
				実績	事業費	全体	368	368	368	368			
						累計	347	352	353	355			
						進捗率	94%	96%	96%	96%			
					完了年度		R9	R9	R9	R9			
R元 -10	土地造成事業 [大阪港湾局] 夢洲土地造成事業	事業継続 (A)	2025年日本国際博覧会の開催とI R開業 をめざし、土地造成・インフラ整備に取り 組む。	計画	事業費	全体	1,390	1,390	1,390	1,390	1,390	地盤改良工、埋立・造 成、基盤整備	[自己評価結果] ①(i) [理由] 夢洲2区(万博エリア)の土地造成において、万博開催予定 地の基盤整備及び関連するインフラ整備を本格的に進めた結 果、事業費実績が計画を上回り、計画どおりの事業進捗を図っ た。
						累計	604	766	873	936	1,030		
						進捗率	43%	55%	63%	67%	74%		
					完了年度		R28	R28	R28	R28	R28		
				実績	事業費	全体	1,390	1,390	1,390	1,390			
						累計	624	688	811	1,009			
						進捗率	45%	49%	58%	73%			
					完了年度		R28	R28	R28	R28			
R元 -11	街路事業 [建設局] 大和川北岸線（公園 南矢田）整備事業	事業継続 (A)	事業継続	計画	事業費	全体	28	28	28	28	28	令和4年度は、用地取得 に向け、用地交渉を行い、 事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗するこ とができていないが、道路整備に向けた関係機関との調整を進 めており、事業進捗が図れている。
						累計	28	28	28	28	28		
						進捗率	99%	99%	99%	99%	100%		
					完了年度		R2	R2	R5	R5	R5		
				実績	事業費	全体	28	28	28	28			
						累計	26	26	26	26			
						進捗率	95%	95%	95%	95%			
					完了年度		R2	R5	R5	R5			
R元 -12	都市公園整備事業 [建設局] 鶴見緑地事業	事業継続 (A)	事業継続	計画	事業費	全体	1,272	1,272	1,272	1,272	1,272	令和5年度の実施設計に 向け、予算の確保をおこ なった。	[自己評価結果] ①(ii) [理由] 残事業区域について、指定管理者との調整に時間を要したた め。 [事業期間・事業費を変更した理由] 本市整備として新たに令和5年度に実施設計、令和6年度中 の事業完了を目指すための予算確保を行い、完了年度を変更し たため。
						累計	1,272	1,272	1,272	1,272	1,272		
						進捗率	99%	99%	99%	99%	99%		
					完了年度		R5	R5	R5	R5	R5		
				実績	事業費	全体	1,272	1,272	1,272	1,272			
						累計	1,272	1,272	1,272	1,272			
						進捗率	99%	99%	99%	99%			
					完了年度		R5	R5	R5	R6			

事業再評価後の取組状況 - 令和2年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						4年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由		
					2年度 (事業再評価時)	3年度	4年度	5年度	6年度				
R2 -01	街路事業 [建設局] 津守阿倍野線整備 事業	事業継続 (A)	防災機能の向上や道路ネットワークの形成のためにも整備が必要な路線として、重点的に予算を確保し、用地交渉が難航している物件については収用手続きへの移行も視野に入れながら、用地取得を進め、用地取得が終われば、速やかに工事を実施し、令和5年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	令和4年度は、用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けて関係機関との調整も行っており、事業進捗が図れている。	
						累計	58	62	63	63			66
						進捗率	87%	93%	95%	95%			99%
					完了年度		R5	R5	R7	R7			R7
				実績	事業費	全体	67	67	67				
						累計	55	56	60				
						進捗率	82%	84%	90%				
					完了年度		R5	R7	R7				
R2 -02	淀川北岸線（菅原）整備事業	事業継続 (A)	予算の範囲内で着実に、残る用地取得と道路整備を進め、令和12年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	令和4年度は、用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けて関係機関との調整も行っており、事業進捗が図れている。
						累計	43	45	48	51	65		
						進捗率	29%	31%	33%	35%	44%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	147	147	147				
						累計	45	45	45				
						進捗率	31%	31%	31%				
					完了年度		R12	R12	R12				

事業再評価後の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						4年度 の取組内容	自己評価結果			
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度					
R3-01	街路事業 [建設局] 河堀口舎利寺線整備事業	事業継続 (A)	令和6年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保し、用地交渉が難航している物件については土地収用法の適用も視野に入れながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	55	55	55	55	令和4年度は、用地取得に向け用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けて関係機関との調整を行っており、事業進捗が図れている。		
						累計	47	49	52	55				
						進捗率	86%	90%	94%	100%				
				完了年度	R6	R6	R6	R6						
					実績	事業費	全体	55	55					
							累計	47	47					
				進捗率			86%	86%						
				完了年度	R6	R6								
					R3-02	街路事業 [建設局] 鞍作線線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。	計画	事業費			全体	27
累計	22	23	23								25	27		
進捗率	83%	84%	86%	91%							100%			
完了年度	R7	R7	R7	R7					R7					
	実績	事業費	全体	27					27					
			累計	22					22					
進捗率			83%	83%										
完了年度	R7	R7												
	R3-03	街路事業 [建設局] 尼崎堺線（西成南）整備事業	事業継続 (A)	令和10年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。					計画	事業費	全体	136	136	136
					累計	73	77	85			90	98		
進捗率					54%	56%	63%	66%			72%			
完了年度					R10	R10	R10	R10	R10					
					実績	事業費	全体	136	136					
							累計	73	76					
進捗率							54%	56%						
完了年度					R10	R10								
					R3-04	街路事業 [建設局] 十三吹田線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。	計画	事業費	全体	68	68	68
	累計	26	28	29							44	53		
進捗率	39%	41%	42%	65%							78%			
完了年度	R10	R10	R10	R10					R10					
	実績	事業費	全体	68					68					
			累計	27					27					
進捗率			40%	40%										
完了年度	R10	R10												

事業再評価後の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点											
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					4年度 の取組内容	自己評価結果					
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度			7年度				
R3-05	街路事業 [建設局] 天王寺大和川線整備事業	事業継続 (B)	JR阪和線の高架化工事事業の完了後、既に広大な空間が広がっている状況から本事業への地域の関心は高まっており、依然として事業の必要性も高いことから、令和10年度の事業完了をめざして、引き続き地域等と調整を図りながら、予算の範囲内で着実な事業実施に努める。	計画	事業費	全体	942	942	942	942	942	令和4年度は、用地取得及び道路整備を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 未取得用地については、土地所有者との用地売却、移転にむけた合意形成には至っておらず、権原取得に向けた調整が難航しているため。		
						累計	862	890	906	921	934				
						進捗率	92%	95%	96%	98%	99%				
				完了年度	R10	R10	R10	R10	R10						
					実績	事業費	全体	942	942						
							累計	862	873						
				進捗率			92%	93%							
				完了年度	R10	R10									
R3-06	街路事業 [建設局] 長柄堺線整備事業	事業継続 (A)	令和6年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得が終われば速やかに工事を実施していく。	計画	事業費	全体	9.6	9.6	9.6	9.6		令和4年度は、用地取得及び道路整備を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉や道路整備を行っており、事業進捗が図れている。		
						累計	6	9	9	10					
						進捗率	63%	92%	97%	100%					
				完了年度	R6	R6	R6	R6							
					実績	事業費	全体	9.6	9.6						
							累計	5	7						
				進捗率			48%	77%							
				完了年度	R6	R6									
R3-07	街路事業 [建設局] 木津川平野線整備事業	事業継続 (A)	令和10年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	121	121	121	121	121	令和4年度は、用地取得及び道路設計を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉や道路設計を行っており、事業進捗が図れている。		
						累計	28	33	39	48	58				
						進捗率	23%	27%	32%	39%	48%				
				完了年度	R10	R10	R10	R10	R10						
					実績	事業費	全体	121	121						
							累計	31	34						
				進捗率			25%	28%							
				完了年度	R10	R10									
R3-08	都市再生整備計画事業 [港区役所] (仮称)区画整理記念・交流会館整備事業	事業継続 (A)	工事工程管理を厳格に進めるとともに、基本構想(28年3月策定)を踏まえて具体的な運営の仕組みづくりを行い、地域コミュニティの活動とも連携した効果的・効率的な施設運営を実現する。また、現区民センター等の民間活用を含め、全体として大きな効果を実現していく。	計画	事業費	全体	58	58				建設工事を継続して実施。工期の延長や事業費の増加に対応するため、予算の補正及び債務負担行為の設定を行った。	[自己評価結果] ②(ii) [評価理由及び事業期間・事業費を変更した理由] 杭打設工事中、地中に想定外のコンクリート塊の存在が判明。撤去を行う必要が生じたことにより工事の遅延が発生し、完了予定が令和5年度に及ぶものとなった。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やロシアのウクライナ侵攻の影響等により、物流コストの上昇、建築資材の需給ひっ迫、さらには大幅な円安の進行もあり、建築資材の高騰が続いたことから、当初の事業費を超える見込みとなった。		
						累計	29	58							
						進捗率	50%	100%							
				完了年度	R4	R4									
					実績	事業費	全体	58	66						
							累計	24	35						
				進捗率			41%	53%							
				完了年度	R4	R5									

事業再評価後の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続（Ａ）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（Ｂ）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（Ｃ）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 Ａ：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
Ｂ：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点														
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					4年度の取組内容	自己評価結果								
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度				7年度						
R3-09	水道設備整備事業 [水道局] 柴島浄水場下施設設 運転用自家発電設備 整備事業	事業継続 (A)	令和3・4年度に実施設計について、業 務委託を実施する。その後の工事発注により、令和6年度に施設運転用自家発電施設の 完成を目指す。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	実施設計業務委託の発注 を行ったが、2度の入札不 調となった。 ・令和4年4月7日開札 ・令和4年8月30日開札	計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変 更をした場合の理由						
						累計	0	0.3	6	25								
						進捗率	0%	1%	24%	100%								
				完了年度		R6	R6	R6	R6									
				実績	事業費	全体	25	25										
						累計	0	0										
						進捗率	0%	0%										
				完了年度		R6	R8											
				R3-10	道路事業 [建設局] 市道西成区第369号 線道路改良事業	事業継続 (B)	本路線は、歩行者等の安全対策ならびに 自動車交通の円滑化、さらに防災機能向上 のためにも整備が必要な路線として、予算 の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予 定年度での完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体			23	23	23	23	道路整備に向け関係先と の調整を進めた。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 夢洲2区(万博エリア)の土地造成において、万博開催予定 地の基盤整備及び関連するインフラ整備を本格的に進めた結 果、事業費実績が計画を上回り、計画どおりの事業進捗を図つ た。
										累計			20	20	21	22		
進捗率	85%	88%	92%							97%	100%							
完了年度		R7	R7					R7	R7	R7								
実績	事業費	全体	23					23										
		累計	19					19										
		進捗率	84%					84%										
完了年度		R7	R7															
R3-11	うめきた2期区域基 盤整備事業 [大阪都市計画局] うめきた新駅設置事 業	事業継続 (A)	世界の人々を惹きつける比類なき魅力を 備えた「みどり」と、新たな国際競争力を 獲得し、世界をリードする「イノベーショ ン」の融合拠点の形成の実現に向け、都市 基盤整備（新駅設置事業・地下化事業、区 画整理事業）を着実に実施する。					計画	事業費	全体	104	104	104		駅部躯体工事、軌道工 事、設備工事等を実施。	[自己評価結果] ①(i) [理由]		
										累計	74	97	104					
				進捗率	71%	93%	100%											
				完了年度		R5	R5	R5										
				実績	事業費	全体	104	104										
						累計	68	97										
						進捗率	65%	93%										
				完了年度		R5	R5											
				R3-12	うめきた2期区域基 盤整備事業 [建設局] JR東海道線支線地下 化事業	事業継続 (A)	世界の人々を惹きつける比類なき魅力を 備えた「みどり」と、新たな国際競争力を 獲得し、世界をリードする「イノベーショ ン」の融合拠点の形成の実現に向け、都市 基盤整備（新駅設置事業・地下化事業、区 画整理事業）を着実に実施する。	計画	事業費	全体	549	549	549				地下化切換工事等、うめ きたのまちづくり実現に向 けた基盤整備を実施。	[自己評価結果] ①(i) [理由] 残事業区域について、指定管理者との調整に時間を要したた め。 [事業期間・事業費を変更した理由] 本市整備として新たに令和5年度に実施設計、令和6年度中 の事業完了を目指すための予算確保を行い、完了年度を変更し たため。
										累計	445	514	549					
進捗率	81%	94%	100%															
完了年度		R5	R5					R5										
実績	事業費	全体	549					549										
		累計	445					516										
		進捗率	81%					94%										
完了年度		R5	R5															

事業再評価後の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続（Ａ）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（Ｂ）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（Ｃ）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 Ａ：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
Ｂ：事業内容について （ｉ）計画どおりに進捗している
（ii）計画どおりに進捗していない

（単位：億円）

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						4年度の取組内容	自己評価結果			
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度					
R3-13	うめきた2期区域基盤整備事業 〔都市整備局〕 大阪駅北大深西地区土地区画整理事業	事業継続 (A)	世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」と、新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点の形成の実現に向け、都市基盤整備（新駅設置事業・地下化事業、区画整理事業）を着実に実施する。	計画	事業費	全体	446	446	446	446	446	道路整備・埋設物移設工事等うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施した。	計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由 〔自己評価結果〕 ①(i) 〔事業費の変更をした理由〕 事業の施行に伴い、その他収入が増となったため事業費を増額しているが、事業は計画通りに進捗している。なお、社会経済状況において物価高騰が発生していることから、引き続き事業マネジメントを行うとともに、事業進捗を計画通りに図っていく。	
						累計	178	247	314	365	396			
						進捗率	40%	55%	70%	82%	89%			
					完了年度	R8	R8	R8	R8	R8				
				実績	事業費	全体	446	455						
						累計	159	262						
						進捗率	36%	58%						
					完了年度	R8	R8							
R3-14	住宅地区改良事業 〔都市整備局〕 長橋住宅地区改良事業	事業継続 (B)	地権者の理解・協力を得られたことを契機として、なお加速的にこの事業を進めることが求められる。そのため、令和7年度の事業収束をめざして、権利者に対し、引き続き事業の必要性の説明と協力要請を丁寧に行うとともに、国との協議をふまえた区画整理事業の換地手法等の活用など新たな方策の導入も視野に入れながら用地取得を進め、必要な施設整備を行っていく。	計画	事業費	全体	90	90	90	90	90	平成30年度に事業協力を得られた未買収用地の大部分を占める大地主の用地買収を開始し、令和4年度分の買収を行った。 また、これまで建物の調査を行うなど調整を続けてきた権利者7件について、不良住宅除却及び用地取得を行った。	〔自己評価結果〕 ②(ii) 〔理由〕 懸案であった大地主用地の買収を令和元年度から開始しており、事業が大きく進捗したが、平成30年度までに権利者との調整及び交渉に要した時間を覆すことができなかったため。	
						累計	68	71	83	89	90			
						進捗率	76%	79%	92%	99%	100%			
					完了年度	R7	R7	R7	R7	R7				
				実績	事業費	全体	90	90						
						累計	67	69						
						進捗率	74%	77%						
					完了年度	R7	R7							
R3-15	港湾公害防止対策事業 〔大阪港湾局〕 大阪港内公害防止対策事業	事業継続 (B)	これまで堤防の耐震対策箇所を優先してきたが、今後は濃度の高い箇所を優先的に除去する等、効果的な対策を実施しながら令和11年度の完了をめざす。 また、公害財特法の失効に伴い、財源確保が厳しくなることから、国や他の自治体等とも調整しながら、財源確保にむけた取り組みも進める。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	高濃度ダイオキシン類の底質除去を実施した。 また南海トラフ巨大地震に対する海岸堤防等の耐震対策と合わせて実施した。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 要求額に対して国の内示額が下回ったため、事業費では計画を下回るが事業は計画通りに進捗している。	
						累計	26	33	40	45	50			
						進捗率	18%	22%	27%	31%	34%			
					完了年度	R11	R11	R11	R11	R11				
				実績	事業費	全体	147	147						
						累計	26	30						
						進捗率	18%	20%						
					完了年度	R11	R11							

事業再評価後の取組状況 - 令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点														
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況							4年度 の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由						
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度									
R3-16	港湾整備事業 [大阪港湾局] 臨港鉄道整備事業 (北港テクノポート線)	南ルート 事業継続 (A) 北ルート 事業休止 (D)	夢洲における国際観光拠点と国際物流拠点としての十分な機能を発揮するため、人流と物流を分離し、幹線道路網の交通負荷を軽減し、港湾物流の円滑化を図る必要があり、その手段として本路線の整備を進める。 平成30年11月、夢洲における大阪・関西万博の開催が決定し、会場となる夢洲地区への主要な輸送手段として本路線（南ルート）が位置づけられていることから、夢洲への来場者輸送に対応するため、令和6年度（2024年度）までに（仮称）夢洲駅の開業を目指し整備を進める。 北ルートの整備については、夢洲Ⅰ期開発以降の夢洲Ⅱ期・Ⅲ期開発における段階的な土地利用の状況に応じて、鉄道の事業主体や運営主体などの整備方針が決まった段階で、改めて大阪市建設事業評価有識者会議に諮る。	計画	事業費	全体	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	駅舎部本体工事及び線路部シールド工事を実施。	〔自己評価結果〕 ②（i） 〔理由〕 シールド工事において、シールド工事の全体工程が短縮できるよう施工方法の見直しを行った。その結果、当初計画より令和4年度中の執行額が減少したものの、シールド工事としては工期の短縮が図られている。					
						累計	534	658	747	789	789							
						進捗率	43%	53%	60%	64%	64%							
				完了年度		R9	R9	R9	R9	R9								
				実績	事業費	全体	1,236	1,236										
						累計	534	637										
						進捗率	43%	52%										
					完了年度		R9	R9										
				R3-17	橋梁事業 [建設局] 主要地方道大阪狭山線（下高野橋）橋梁架替事業			計画	事業費	全体	29	29		29			下高野橋の架替に伴う、主要地方道大阪狭山線の線形変更に必要な用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉	〔自己評価結果〕 ②（ii） 〔理由〕 用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。
										累計	29	29		29				
										進捗率	98%	98%		100%				
								完了年度		R5	R5	R5						
実績	事業費	全体	29					29										
		累計	29					29										
		進捗率	98%					98%										
	完了年度		R5					R5										
R3-18	道路事業 [建設局] 主要地方道住吉八尾線道路改良事業							計画	事業費	全体	14	14	14	14		道路予定地の取得及び道路整備に向け関係先との調整を進めた。	〔自己評価結果〕 ②（i） 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、2件の用地買収が完了しており、事業進捗が図れている。 〔事業期間の変更をした理由〕 用地買収等にかかる権利者交渉に想定以上の時間を要しているため、令和4年度から令和6年度に完了年度を変更した。今後も難航している権利者交渉を継続し、用地買収及び道路整備を進めて行く予定である。	
										累計	13	13	14	14				
										進捗率	95%	96%	97%	100%				
								完了年度		R4	R4	R6	R6					
				実績	事業費	全体	14	14										
						累計	13	13										
						進捗率	93%	93%										
					完了年度		R4	R6										